

80 の手習い・夢の実現に向けて



加賀 晃次

Kaga Koji

建設部門

総合技術監理部門

1. はじめに

私は今年3月で満80歳、傘寿を迎えたことを期に55年の会社勤めに終止符を打った。人生100年といわれて久しい、残りの人生何をすべきかを考えた時、私の長年の夢を実現することを思いついた。それは就職してからほとんどを建設コンサルタントとして橋の設計に拘わってきたことから、橋に関するホームページを作成し、橋の美しさ、魅力を一人でも多くの人に配信することである。

私だけかもしれないが橋梁技術者は橋を見ればその姿・形から、とにかく「なぜ」とか「どんな」が真っ先に思い浮かぶ。例えば、なぜこのような構造形式を取ったのか、なぜPC(RC)構造にしたのか、あるいは鋼構造にしたのか、なぜこのような径間割にしたのか、どんな施工方法としたのか等々である。

そこで内容は専門的なことよりも橋の美しさ、魅力に重点を置き絵や写真、短い文章で紹介したいと思っている。

2. 私の夢

「大きくなったら何になりたい？」子供の頃、誰もが一度はそう聞かれたことがあるのではないか。返ってくるのは「野球選手になりたい」とか「サッカー選手になりたい」といういわゆる「野球少年」や「サッカー少年」という答えが多い。また、「パーティシエになりたい」とか「イラストレーターになりたい」という子もいるだろうし、最近は「会社員になりたい」という子もいるだろう。しかし、私はこれまで「橋を作る人になりたい」とか「橋を設計してみたい」といういわゆる「橋梁少年」には、まだ出会ったことがない。

明石海峡大橋や大鳴門橋を始め、本州四国連絡橋各ルートに架かる橋を見れば日本の橋梁技術は世界トップレベルといえる。しかし現在、他の技術専門職と同様、橋に関わりたいという若者は減少傾向にあると感じている。先人たちが長年にわたって培ってきたこの世界に誇れる素晴らしい橋梁技術は途絶えさせるべきではないし、継承していくべきと考える。もちろんそれは簡単なことではない。

橋は人と人、街と街、さらに自分とまだ見ぬ素晴らしい何かを繋ぐ美しく、本当に魅力的な存在といえる。私の夢は、美しく魅力的な存在である「橋」の担い手になる「橋梁少年」を一人でも多く育てることにある。そして、やがてこれらの橋梁少年が橋梁技術者へ

と育ってくれることを願っている。夢を夢のまま終わらせないためにも、是非この配信で夢を実現したい。

3. 現在の配信内容

メインタイトルは「日々是橋日」とした。それはこれまでの私の日々の生活とできるだけこの配信を継続することを込めて「日々是好日」を捩ったものである。また、私のことは「橋好き親爺一」と称することにした。

内容は現在のところ次の4つを柱とし、配信している内容は以下のとおりである。

- ・橋好き親爺一のこと……橋好き親爺一の経歴

- 橋梁技術者を目指す人へ親爺一のメッセージ
 - 橋梁美学・橋梁史の本の紹介

- ・橋の小嘶……橋に関するチョットした雑学的な話

- そもそも「橋」とは
 - 橋に関するオモシロ用語
 - 橋はどれだけ長くできるか？
 - 「橋」がつく言葉を集めてみました
 - 枕草子と橋
 - 心中天網島で語られる橋
 - 「橋の日」、「土木の日」

- ・橋の絵ギャラリー……橋好き親爺一がこれまで描いてきた絵と話

- 日本の橋：加賀須野橋

- 海外の橋：安済橋

- 無際橋
 - 小鳴門橋
 - 吉野川橋
 - 阿波しらさぎ大橋
 - 大鳴門橋
 - 横浜ベイブリッジ
 - 多々羅大橋、通潤橋
- ヴォーバン水道橋
 - アダナのローマ橋
 - ブルックリン橋
 - シャハラ橋
 - ナインホール橋
 - オーエンス橋
 - ヌエボ橋

- ・お問い合わせ……橋に関する質問を受けるコーナー

4. おわりに

5月から配信を始めている。とにかく多くの人に知って貰うことと更新を続けることが大事で、月1回程度で更新するつもりである。ホームページのQRコードを掲載しておく。

